

町政



中田 壽國

CATVの将来計画

デジタル放送に対応

中田 本町の有線テレビ放送（CATV）の今後の整備について、本議会において光ケーブル四・七km新設され、本庁舎と有線テレビ放送センターとが接続され各種整備が予定されている。具体的に今後整備計画されている事業について伺う。

町長 旧岸本地区と旧溝口地区とはケーブルテレビ事業者が異なるため、テレビ放送チャンネル数や料金体系が全く違うため、幾分でも情報較差を解消するために光ケーブルで接続し、本庁舎から旧溝口地区に音声告知放送が行える環境の整備を図るとともに、IP電話サービスの開始に向けての補正予算である。

今後の整備計画は、平成二十三年からのテレビ放送の完全デジタル化に

向け、地上波、B・S・C Sチャンネル等の多数の設備に対しデジタル化への対応と伯耆町内におけるCATVサービスの一元化への対応、この二点が重点事項と認識している。

実施時期、概算事業費等については、現在策定中の第一次伯耆町総合計画の中に盛りこむ。

中田 旧溝口地区において旧岸本地区で実施している防災行政無線による定時放送が音声告知放送により実施できないか。

町長 防災行政無線は設置後十二年、音声告知放送は十年を経過し、両施設とも、耐用年数を経過している。機器更新はともかく、無線や放送のデジタル化を視野に入れ、一元化及び集落内放送が可能となるよう検討する。



伯耆町ケーブルテレビ 調整室

中田 デジタル化対応について。

町長 テレビ放送のデジタル化については、NHK、民放等地上波は平成十八年十月にデジタル化放送が開始となる。伯耆町有線テレビでは

デジタル放送が現在のテレビで視聴できるように、平成十八年度初期に環境の整備を行う。

更に、平成二十三年の完全デジタル化に備えては伯耆町総合計画で明示する。

指定管理者公募

中田 公共施設の指定管理者制度の導入について、この制度はいわゆる政府の進めている「官から民」への具体的施策である。公共施設の管理を民間企業等に広げ住民サービス向上と経費の節減を図ることを目的としている。

条例の定めにより公募により選定することについてうかがう。

町長 公募と指名により選定委員会を設置し指定したい。